

目指すまちの姿

2

暮らしやすいまち

施策の 方向性

- 2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現
- 2-2 移住・定住の促進強化
- 2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
- 2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	評価指数の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
住みやすさ ランキング (県内の市)	11位/県内12市 (2016年)	12位/県内12市 (2021年)	奈良県1位	【まちの住みやすさの向上】 暮らしやすいまちづくりを進めることで、 県内他市と比較して「住みやすさ」が向 上すると考えられます。
人口の社会動態 (転入者数 - 転出者数)	-205人 (2017年度)	-194人 (2020年度)	-150人	【社会増減数(転入者数-転出者数)の 改善】 まちの住みやすさが向上することによっ て、市外への転出者数が減少し、市外か らの移住が促進されることで、社会動態 の減少数が小さくなると考えられます。



目指すまちの姿 2

SDGs

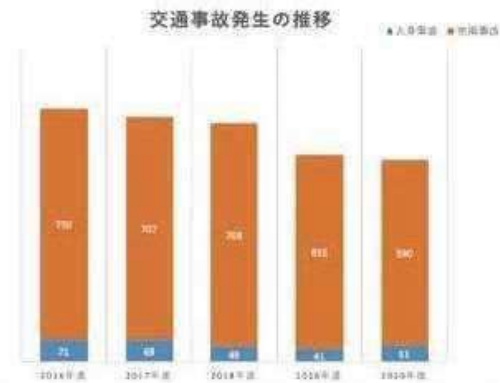


施策の方向性

2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現

現状

- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケート調査で、「宇陀市の印象・イメージ」について、約9割が「緑が多く自然が豊か」と回答
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区の歴史的街なみの景観を維持、活用するため、町家等の建造物の修理・修景に対して支援
- ▶ 2019年に実施した空き家等実態調査において、726戸の空き家の存在が確認され、空き家の所有者に対するアンケート調査では、約6割が「空き家を売却したい」、「貸し出しをしたい」などと回答
- ▶ 防犯や交通事故防止のため、各種関係団体による啓発活動等を支援
- ▶ 幅広い年齢層にスマートフォンの利用が普及している中で、通信販売に関わる消費生活相談が増加
- ▶ 通学路の安全確保に関する取り組みを入れる（東部で初のキッズゾーン設置）
通学路の安全確保を図るため、奈良県東部地域で初めてキッズゾーンを設置



課題

- ▶ 自然や歴史・文化と調和した景観形成や環境と経済が両立した住みやすいまちづくり
- ▶ 防犯や交通事故防止のための取り組みを継続
- ▶ 子どもたちを危険から守るために通学路等の安全を確保
- ▶ あらゆる年代に向けた消費者保護の啓発
- ▶ デジタル社会の実現に向けて、デジタルデバイドの解消

デジタルデバイド：インターネットやコンピューターを使える人と使えない人との間に生じる格差のことです。

施策

1 景観や環境を大切にするまちづくりを進めます

【主な事業】・空き家情報バンク ・重要伝統的建造物群保存地区保存事業

- ・いつまでも住み続けたいと思える自然環境に配慮した持続可能なまちづくり
- ・松山地区伝統的建造物群保存地区や室生寺門前町など各地域の特性に応じた街なみ景観の維持
- ・空き家等の所有者に対して適正な管理指導を行い、景観・環境への配慮や市民生活の安全対策、空き家情報バンクへの登録などの利活用に向けた取り組みを推進

2 交通安全対策や防犯、消費者保護を進めます

【主な事業】・防犯灯整備事業

- ・特殊詐欺等防止機器購入補助事業
- ・消費者生活相談窓口開設事業
- ・通学路等の安全を確保し、交通事故の未然防止のため、キッズゾーンの設定や交通安全施設の整備
- ・交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣づけるため、関連団体が行う啓発活動を支援
- ・子ども達の登下校時の安全確保など、地域の見守り活動
- ・空き巣等の犯罪に対し、防犯意識を高める啓発活動
- ・犯罪を抑止するための防犯設備等の整備
- ・地域と警察等が連携した地域防犯体制
- ・高齢者等を狙った特殊詐欺やデジタル化による消費者トラブル等の被害を未然に防ぐため、関係機関との連携、相談窓口の強化、安全・安心メールでの情報提供などによる消費者保護



関連する計画



- 宇陀市空家等対策計画
- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本協定
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市通学路交通安全プログラム

キッズゾーン：保育所等が行う散歩等の園外活動の安全を確保するため、車両の運転者に対して注意喚起することを目的として設定した道路の区域のことです。

目指すまちの姿 2

SDGs



施策の 方向性

2-2 移住・定住の推進強化

現状

- ▶ 宇陀市では少子化の進展や転出者が転入者を上回る人口の社会減少が進行
- ▶ 新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式の浸透による地方移住への関心の高まり
- ▶ 定住促進に向けて、移住・定住者への住宅取得等に対する助成
- ▶ 市営住宅への公営住宅等長寿命化計画に基づく修繕・管理の実施

課題

- ▶ 働く場の確保のため、産業ゾーンとして位置付けられている市街化調整区域の土地の活用
- ▶ 宇陀市に関心を持ってもらうための情報発信
- ▶ 移住・定住を促進するため、移住体験施設の周知及び利用促進
- ▶ 登録物件の増加を図るため、空き家情報バンク制度の周知

写真またはイラスト

産業ゾーン:既存産業の集積地や企業誘致・新産業の創出のための受け皿となる区域で、宇陀市都市計画マスタープランで位置付けている区域です。

施策

1 土地利用を推進します

【主な事業】地籍調査事業

- ・住宅地や商業地、工業地等の健全な発展と秩序ある整備の推進及び農地や森林地域などの自然環境の保全と活用
- ・市街化調整区域における地区計画制度の活用による土地の有効利用や社会経済活動
- ・土地を有効利用するために地籍調査を推進

2 移住・定住者への総合的な支援を充実します

【主な事業】空き家情報バンク、定住促進の奨励、子育て世代支援、市営住宅長寿命化、宇陀の魅力体験施設

- ・榛原駅前交流施設や空き家を活用した移住体験施設「宇陀の魅力体験施設」等の市内施設だけでなく、市外でも宇陀市の魅力を広く発信
- ・関係人口の増加を図るため、移住や二地域居住、定住に向けた活動を行う団体を支援
- ・空き家の所有者に空き家情報バンク制度の周知及び利用を図り、空き家の有効利用を促進
- ・住宅の取得や、子育て・結婚等に伴う新生活を支援
- ・独身男女の出会いイベントを支援
- ・市営住宅の長寿命化に向け、施設を計画的に改善

宇陀の魅力体験施設

関連する計画



- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市のまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市公営住宅等長寿命化計画
- 宇陀市立地適正化計画
- 宇陀市公共施設等総合管理計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

地籍調査：一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のことです。

市街化調整区域における地区計画制度：市街化調整区域の性格を変えない範囲で、無秩序な土地利用や乱開発を防止し、土地利用が行われることが確実な区域について、計画的かつ適切な土地利用を図る制度のことです。

二地域居住：都市部と地方に二つの拠点をもち、定期的に地方でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルの一つです。

目指すまちの姿 2

SDGs



施策の 方向性

2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用

現状

- ▶ 橋梁やトンネル、道路の舗装面に経年による劣化が進行
- ▶ 国や県の道路計画において国道165号が中和津道路として位置づけられる
- ▶ 通勤や通学、通院、買い物等の移動手段となる、市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等の運行に対して支援
- ▶ 少子化や人口減少の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、地域公共交通機関の利用者が減少
- ▶ 上水道は、(仮称)奈良県広域水道企業団の設立を踏まえて、計画的に事業を実施
- ▶ 人口減少や節水機器の普及などにより、上下水道料金収入の伸びが停滞
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、社会全体のデジタル化が進んでおり、宇陀市においてもキャッシュレスによる支払いを導入するなど非接触の取り組みを実施

グラフ 地域公共交通利用と宇陀市の支出額(2016年度～2020年度)

テレワーク：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことです。

緊急輸送道路：地震等の大規模災害発生直後から、救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うため、道路管理者等が事前に指定する路線のことです。

DX：Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)のことで、デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革命に向けて産業・組織・個人が大転換を図ることです。

課題

- ▶ 災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点や緊急輸送道路の整備
- ▶ 自動車を運転できない人のニーズを把握し、まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通について検討
- ▶ 人口減少や施設の老朽化等に対応する安定した上水道の経営基盤を構築
- ▶ 老朽化している下水道施設の更新
- ▶ デジタル化の恩恵が行き渡るようDXの推進

施策

1 安全で快適な道路環境を整備・維持します

【主な事業】市道舗装等維持補修、道路メンテナンス（橋梁点検、橋梁等長寿命化）、交通安全施設整備

- ・市内道路網の維持及び安全性確保のため、市道の整備や維持補修に取り組み、災害時の緊急輸送道路としての機能も確保
- ・橋梁やトンネルの計画的な長寿命化を図るとともに、落石等の危険を未然に防止
- ・カーブミラーや防護柵、街路灯等の交通安全施設を整備し、安心して利用できる道路環境づくり
- ・中和津道路が重要物流道路として整備促進がなされるよう、近隣自治体と連携し指定と整備促進に向け、国や県へ働きかけを実施
- ・県道の狭隘な区間の解消に向け、県への要望を継続



目指すまちの姿 2

2 ニーズに応じた地域公共交通を推進します

【主な事業】奈良交通路線バス運行対策費負担金、

榛原大野線運行、

大宇陀南部地域ボランティア有償運

送運行

デマンド型乗合タクシー運行

- ・事業者、地域と一体となった地域公共交通網の維持のため、市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等を運行する事業者等に対する支援
- ・地域公共交通の運行効果を検証し、地域の特徴に応じた誰もが安心して移動できるなどの利便性を向上
- ・小学生を対象とした「バスの乗り方教室」など、モビリティ・マネジメントの取り組みを充実
- ・住宅団地等において、いつまでも住み続けられるまちづくりの実現に向け、グリーンスローモビリティの導入に向けた実証実験の実施

榛原大野線、大宇陀南部線、
デマンド型乗合タクシー、
らくらくバス、わくわくバス、
ほっとバス錦、路線バス

3 効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します

【主な事業】水道未普及地域解消、水道施設遠隔監視装置整備、下水道管路のリニューアル

- ・安全な水を安定して供給するため、給配水管の布設替えや配水池等の水情報を一元管理する遠隔監視装置の更新など、老朽化・耐震化対策の実施
- ・大宇陀本郷地区、菟田野大神・入谷地区において水道未普及地域の解消
- ・安定した経営基盤のもとで持続的に水を供給するため、(仮称)奈良県広域水道企業団を設立
- ・下水道施設の長寿命化を図るため、ストックマネジメント計画に基づき、管路更生工事等を施工

4 デジタル化に対応した環境の整備を推進します

- ・デジタル技術やデータを活用した業務の効率化を図るとともに、個人情報の保護などセキュリティ対策を徹底し、市民の利便性を向上
- ・マイナンバーカードの普及を促進し、マイナンバーカードを用いたマイナポータルの利用促進など、行政手続のオンライン化
- ・GIGAスクールやスマート農業・自動運転など、様々な分野においてDXを推進

暮らしやすいまち

関連する計画



- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市のまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市橋梁長寿命化修繕計画
- 宇陀市トンネル長寿命化修繕計画
- 宇陀市地域公共交通計画
- 宇陀市水道ビジョン
- 宇陀市水道事業経営戦略
- 宇陀市水道施設アセットマネジメント計画
- 水道事業等の統合に関する覚書
- 宇陀市流域関連公共下水道事業計画
- 宇陀市下水道ストックマネジメント計画
- 宇陀市下水道事業経営戦略
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市地域防災計画
- 宇陀市国土強靱化地域計画

モビリティ・マネジメント：過度に自動車に頼る生活から公共交通や自転車など様々な交通手段を「かしこく」使う生活へと自発的に転換することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のことです。

グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のことです。

重要物流道路：平常時・災害時を問わず安定的な輸送を確保するため、物流上重要な道路輸送網として国土交通大臣が指定した路線のことです。

公共下水道：主として市街化区域における下水を排除し、または処理するために市町村が管理する下水道のことです。

特定環境保全公共下水道：主として市街化区域以外で設置される、農山村の生活環境の改善を図るための下水道のことです。

マイナポータル：政府が運営するオンラインサービスで、子育てや介護をはじめとする行政手続きの検索やオンライン申請がワンストップでできたり、行政機関からのお知らせを受け取れたりする自分専用のサイトです。

GIGAスクール：義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境等を整備する構想で、宇陀市では2020年度に整備を終えています。

スマート農業：ロボット・AI・IoTなど先端技術を活用した農業のことです。

目指すまちの姿 2

SDGs



施策の 方向性

2-4 災害いに備えた安全・安心な暮らしの実現

現状

- ▶ 宇陀市は、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されているとともに、地球温暖化が原因とされる気象の急変や台風・集中豪雨等の自然災害の頻発化・激甚化に伴う被害リスクが増加
- ▶ 自主防災組織の結成や資機材の整備を実施
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大が避難所の運営体制に影響
- ▶ 災害時に支援を必要とする要配慮者は、高齢者の増加に伴い増加
- ▶ 消防団体制の強化を図るため、消防車両の計画的な更新整備

課題

- ▶ 災害時の情報伝達の強化
- ▶ 住宅の耐震化の必要性について市民の意識を高め、耐震化を促進
- ▶ 自治会や自主防災組織等の地域主体の防災訓練等を充実させ、自助・共助の意識の向上を図るとともに、公助を併せた防災・減災体制の構築
- ▶ 感染症対策を講じた避難所の整備や資機材の拡充、備蓄品の更新を推進
- ▶ 国や県と連携して土砂災害対策事業を推進
- ▶ 避難行動要支援者の早期避難や安否確認等の充実
- ▶ 災害時における関係機関との連携体制を強化

要配慮者：高齢者や障がいのある人、乳幼児など災害時に特別な配慮が必要となる人のことです。

避難所行動要支援者：要配慮者のうち、災害時の避難行動や避難所等での生活が困難な人のことです。

施策

1 自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します

【主な事業】 既存木造住宅耐震診断・改修支援、急傾斜地崩壊対策、地すべり対策

- ・風水害や地震・新型コロナウイルス感染症等の情報を発信するため、CATVや安全・安心メール、ホームページなどの迅速な伝達手段の充実
- ・今後、発生が予想される南海トラフ地震に備え、避難所となる公共施設やインフラ施設の耐震化
- ・土砂災害特別警戒区域での土砂災害や大規模地震の発生時においても安全な暮らしを確保するため、既存の住宅の改修等に対する支援の充実
- ・国や県と協働し、急傾斜地への崩壊防止施設の設置や地すべり対策工事、土石流等の防止のための砂防堰堤の設置等の防災措置

2 防災意識の向上と防災・消防体制を強化します

【主な事業】 自主防災組織支援、消防機庫整備、避難所設備強化

- ・地域の防災力向上のため、自主防災組織の結成や自主防災組織等の取り組みを支援
- ・地域内の連携強化と防災意識の向上を図るため、防災サポーター養成講座や官民共同による防災訓練等を充実
- ・避難所の感染症対策を講じ、安全で誰もが健康を維持できるよう整備を進めるとともに、防災資機材の拡充とローリングストック法に基づいた備蓄品の更新
- ・ハザードマップの周知を図るとともに、避難行動要支援者など支援を必要とする人を安全に避難誘導できるよう、福祉専門職等と連携を図り、個別避難計画を作成
- ・南海トラフ地震など大規模災害に対応するため、関係機関等と連携した支援体制の構築
- ・消防団員の確保に向けた啓発活動を行うとともに、火災や災害時の安全を確保するため、安全装備品を充実や消防車両の計画的な更新を行い、防災を強化

関連する計画



- 宇陀市地域防災計画
- 宇陀市消防団組織再編計画
- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市耐震改修促進計画
- 宇陀市国民保護計画
- 宇陀市国土強靱化地域計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

インフラ施設：道路や橋梁、上下水道等の公共的な機能を担う施設のことです。

ハザードマップ：発生の予測される自然災害について、その被害が及び範囲、被害の程度、避難の道筋、避難場所等を表した地図のことです。